

# 「～たばかり」と「～たところ」の意味・用法の広がり

## —コーパスを用いた複文研究に向けて—

建石 始（神戸女学院大学）\*

2011年12月18日 ワークショップ「複文構文の意味の研究」

### 1. はじめに

「～たばかりだ」と「～たところだ」は一般的にある行為が行われた直後という意味を持つ類義表現とされる。本発表では、コーパスを用いることによって、両形式の特徴の違いを分析する。また、両形式は文末で使われる以外にも、「～たばかりに」（悪い結果）、「～たばかりか」（累加）、「～たところ、」（順接）、「～たところが」（逆接）、「～たところで、」（逆接・仮定）といった接続表現としても使用される。文末用法とこれらの接続表現の用法との違いについても、コーパスを用いながら分析する。

### 2. 先行研究と問題の所在

#### 2. 1 「～たばかり」と「～たところ」の違い

日本語教育の現場では、「～たばかり」と「～たところ」の違いがしばしば問題になる。例えば、スリーエーネットワーク(2001)では、「～たところ」も「～たばかり」もある行為が行われた時間的「直後」を表すが、「～たばかり」は、時間のとらえ方が話し手の心理、意識に基づく」（p. 190）とされ、「～たばかり」は発話の時点から見て、さほど時間が経過していないと話し手が感じれば、「きのう」「先週」「先月」「去年」、場合によっては「3年まえに」「さえ用いられる」（p. 191）と指摘されている。また、市川(2005)は「動詞タ形＋ところだ」が、「その動作がたった今終了したこと」に焦点が置かれるのに対し、「動詞タ形＋ばかりだ」は、「その動作が終了して、あまり時間がたっていないこと」に焦点が置かれます。」(p. 235)、庵他(2001)は「～たばかりだ」は単に何らかの出来事の直後であることを表すのに対し、「～たところだ」には新たな動作・出来事に移る前の段階というニュアンスがあります。」(p. 98)として、次のような例を提示している。

(1) この子は一昨日 {○生まれたばかりです／？生まれたところですよ}。

(2) 今電車に {○乗ったところですよ／？乗ったばかりですよ} ので、会社に着くまでにはあと30分ぐらいかかります。( (1)(2)いずれも庵他(2001:98より) )

また、グループ・ジャマシイ編(1998)は「～たばかり」について、「動作が完了してから、時間があまりたっていないことを表す。動作の直後でなくても、話し手にとって時間がたっていないと感じる場合にも使える」（p. 494）と指摘し、「～たところ」については、「動作・変化がその「直後」の段階にあることを表す。「今、さっき、ちょっと前」などの、直前の時を表す副詞と共に用いられることが多い」（p. 331）と指摘している。さらに、前田

---

\* h-tateishi@mail.kobe-c.ac.jp

(2001)では、主文末に現れる「～たばかり」と「～たところ」の違いについて、(i)明らかに過去の時間を表す副詞句が現れた場合、「～たところ」は使えない、(ii)「まだ」が現れた文では「～たところ」は使いにくい、(iii)「やっと」が現れた文では、「～たばかり」は使いにくい、(iv)接続する動詞句に制限があり、動作・出来事が終結した瞬間が特定しにくいものは「～ところ」が使いにくい、ということなどが指摘されている。

## 2. 2 「～たばかり」の複文的意味

「～たばかり」には次のような用法がある。

- (3) さっき到着したばかりだ。(=直後)
- (4) 電車が遅れたばかりに、会議に間に合わなかった。(=悪い結果)
- (5) 犯人は運転中に安全確認を怠ったばかりか、居眠りまでしていた。(=累加)
- (6) このドラマは感動を与えたばかりでなく、視聴者に希望も与えた。(=累加)

このうち、本発表では、直後を表す「～たばかり」、悪い結果を表す「～たばかりに」、累加を表す「～ばかりか」を考察の対象とする。

## 2. 3 「～たところ」の複文的意味

「～たところ」には次のような用法がある。

- (7) さっき到着したところだ。(=直後)
- (8) 私が調査したところ、あの会社に問題は何かないことが分かった。(=順接)
- (9) 彼女と結婚すれば幸せになると思ったところが、そうではなかった。(=逆接)
- (10) 五合目まで登ったところで休憩した。(=区切り)
- (11) 今さら努力したところで大した結果は得られないだろう。(=逆接・仮定)
- (12) 出かけようとしたところに、電話がかかってきた。(=別事態の発生)
- (13) もう少しでうまくいったところを彼に邪魔された。(=予想外の事態の発生)

このうち、本発表では、直後を表す「～たところ」、順接を表す「～ところ」、逆接を表す「～たところが」、逆接・仮定を表す「～たところで」を考察の対象とする。

## 3. 「～たばかり」に関する分析

### 3. 1 現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)

今回の分析では、コーパスとして「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ; Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese)」を使用した。これは国立国語研究所のKOTONOHA計画の中に位置づけられた1億語規模のコーパスであり、新聞、雑誌、書籍、白書、Yahoo!知恵袋、学校教科書などを対象として収録している。ただし、今回は2009年度版(モニター公開)を使用した。2009年度版は書籍約3,000万語、白書約480万語、Yahoo!知恵袋約520万語、国会会議録約490万語の合計4520万語で構成されている。

### 3. 2 「～たばかり」の検索結果

調査方法としては、「ひまわり」という検索ソフトで「～たばかり」「～だばかり」「～たばかり」「～だばかり」という文字列を検索した。

「～たばかり」は 1926 例、「～だばかり」は 43 例、「～たばかり」は 43 例使用されており、「～だばかり」は使用されていなかった。そのうち、「～たばかり」が述語に結びついていない以下のような例は除外した。

(14) そこで、もう一つ大蔵省に伺いますが、あなたたばかり責めるわけじゃないんですけれども、恩給法には五十一条に受給資格の喪失というのがありますね。

(15) てまえなんかいくらからだばかりふとつても、こんなことはできまい。

「～たばかり」の検索結果は以下の通りである。

表 1 「～たばかり」の検索結果

	検索結果	考察の対象
～たばかり	1926 例	1912 例
～だばかり	43 例	42 例
～たばかり	43 例	41 例
～だばかり	0 例	0 例
合計	2012 例	1995 例

### 3. 3 「～たばかり」(直後)の調査結果

「～たばかり」(直後)として、1731 例を収集した。「～たばかり」(直後)が結びつきやすい述語をまとめると表 2 になる。

表 2 「～たばかり」(直後)が結びつく述語

1	なる	123 (7.1%)	12	会う(逢う)	18 (1.0%)
2	始める(はじめる)	89 (5.1%)	12	終わる(終る・おわる)	18 (1.0%)
3	生まれる(生れる・産まれる・うまれる)	88 (5.1%)	12	着く	18 (1.0%)
4	来る(くる)	69 (4.0%)	15	卒業する	16 (0.9%)
5	始まる(はじまる)	59 (3.4%)	16	結婚する	15 (0.9%)
6	出る	40 (2.3%)	17	知り合う(知りあう)	14 (0.8%)
7	買う	35 (2.0%)	18	言う(いう)	11 (0.6%)
8	帰る	33 (1.9%)	18	完成する	11 (0.6%)
9	入る(はいる)	31 (1.8%)	18	聞く(聴く)	11 (0.6%)
10	過ぎる(すぎる)	26 (1.5%)	18	見る	11 (0.6%)
11	できる(出来る)	24 (1.4%)	18	もらう	11 (0.6%)

「～たばかり」(直後)は「なる」「始める」「生まれる」「来る」「始まる」「出る」などの出現や変化を表す述語と結びつきやすい。また、補助動詞の「～てくる」が使用されやすい(97 例:5.6%)という特徴も見られた。

### 3. 4 「～たばかりに」(悪い結果)の調査結果

「～たばかりに」「～たばかりに」は 49 例あったが、以下のものは除外する。

(16) 所帯を持ったばかりにやちげえねえんですけど、『あら』は『新』じゃあねえんです。

「～たばかりに」(悪い結果)は43例あった。その中で「頼む」のみが2例使用されていたが、その他は全て1例しか存在しなかった。

表3 「～たばかりに」(悪い結果)が結びつく述語(1例)

与える・生き延びる・行く・移る・生まれる・遅れる・怯える・おる・隠す・掛ける・(情を)かける・加入する・(気を)効かす・義理立てする・厳命する・女王だった・(口を)すべらせる・住む・(依頼を)する・(邪魔を)する・(手術を)する・(ないしょに)する・(ヘマを)する・属する・同情する・(思いを)とげる・とれない・ない・(感情的に)なる・願う・配属する・入る・引き受ける・ファンである・踏みこえる・振り返る・申す・持つ・譲り受ける・(気を)許す・選ぶ
--

「～たばかりに」(悪い結果)には特徴的にみられる述語は存在しなかった。逆に言えば、「～たばかり」(直後)は変化や出現を表す述語と結びつきやすいのに対して、「～たばかりに」(悪い結果)にはそのような特徴が見られないという特徴がある。

### 3.5 「～たばかりか」(累加)の調査結果

「～たばかりか」(累加)は91例、「～だばかりか」(累加)が1例存在した。92例中、否定と結びつくもの(「～なかったばかりか」)が16例で、その他は全て1例のみであった。

表4 「～たばかりか」(累加)が結びつく述語(1例)

いただく・(受け皿と)なる・明けくれる・禁止する・かきたてる・続く・とらえる・誤り伝える・助ける・植えつける・負ける・うるおす・とり逃がす・すごす・おろそかにする・侵入する・参加する・現実化する・撤去する・失墜する・結婚する・獲得する・失敗する・証明する・再燃する・反発する・凍結する・根絶する・転落する・許す・出資する・追い返す・到達する・分配する・直面する・封じる・(世話を)焼く・身売りする・(供を)する・混乱する・固定する・定着する・みせる・(きれいどころ)である・(真剣)である・(不公平)である・奪う・ない・わかる・くださる・なくなる・達成する・読む・はずす・変わる・乗る・上回る・娶る・持ち寄る・生捕る・造る・据え置く・協力する・許す・見せる・会う・負う・翻訳する・命じる・はぎとる・奪う・逃れる・許す・得る・得る
--

そこで、「～ばかりか」を検索したところ、合計568例を収集した。そのうち、「いかばかりか」や「そればかりか」、前に名詞が結びつくものを除外して<sup>1</sup>、337例を対象とした。そのうち、「～ないばかりか」は108例、「～ぬばかりか」は3例、「～なかったばかりか」は16例であった。

表5 「～ばかりか」と否定

「～ばかりか」	337例(100%)
否定と結びつく「～ばかりか」	129例(38.3%)
①「～ないばかりか」	108例(32.0%)
②「～ぬばかりか」「～んばかりか」	5例(1.5%)
③「～なかったばかりか」	16例(4.7%)

<sup>1</sup> 「いかばかりか」は6例、「そればかりか」は97例、前に名詞が結びついたものは128例であった。

「～ばかりか」と類義表現とされる「～だけでなく」を調査したところ、2781 例を収集した。そのうち、名詞やメタ表現に直接結びつくもの、助詞に直接結びつくもの、「～という」に結びつくものを除外し<sup>2</sup>、785 例を対象とした。そのうち、「～ないだけでなく」は 34 例、「～なかつただけでなく」は 9 例であった。

表 6 「～だけでなく」と否定

「～だけでなく」	785 例 (100%)
否定と結びつく「～だけでなく」	43 例 (5.5%)
①「～ないだけでなく」	34 例 (4.3%)
②「～ぬ/んだけでなく」「～んだけでなく」	0 例 (0%)
③「～なかつただけでなく」	9 例 (1.2%)

「～ばかりか」は否定と結びつきやすかったのに対して、「～だけでなく」は否定と結びつきやすいという傾向は見られなかった。

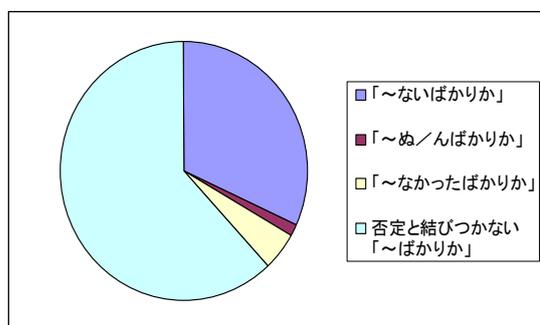


図 1 : 「～ばかりか」と否定

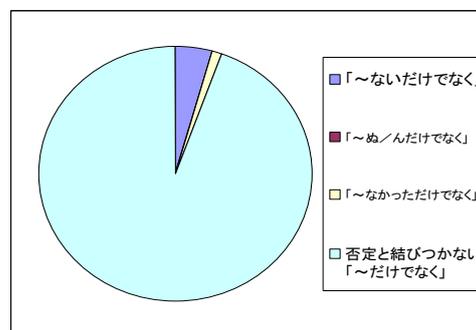


図 2 : 「～だけでなく」と否定

## 4. 「～たところ」に関する分析

### 4. 1 「～たところ」の検索結果

「～たばかり」と同様に、検索ソフト「ひまわり」で「～たところ」「～だところ」という文字列を検索した。「～たところ」は 7935 例、「～だところ」は 182 例使用されていた。そのうち、以下のような例は除外した。

- (17) 大正十四年の東京は、二年前に受けた大震災の痛手からようやく立上ったばかり、まだところどころに荒廃した風景も残っている。
- (18) ぼくは、反対側の屋敷まで戻って、そこにいた新津に話を聞き、自分が刑事たちからかわれたことに気づかされた。とんだところで、余計な時間を使ってしまったものだった。

表 7 「～たところ」の検索結果

	検索結果	考察の対象
～たところ	7935 例	7935 例
～だところ	182 例	177 例
合計	8117 例	8112 例

<sup>2</sup> 名詞に結びつくものは 1828 例、メタ表現に結びつくものは 37 例、助詞に結びつくものは 71 例、「という」に結びつくものは 60 例であった。

#### 4. 2 「～たところ」(直後)の調査結果

8112例の「～たところ」について、一つ一つ用法を確認した。その結果、「～たところ」(直後)として、1365例を収集した。「～たところ」(直後)が結びつく述語は以下の通りである。

表8 「～たところ」(直後)が結びつく述語

1	する(いたす)	110(8.1%)	10	(ことと)する	16(1.2%)
2	行う	106(7.8%)	12	指摘する	14(1.0%)
3	図る	63(4.6%)	12	推進する	14(1.0%)
4	努める	37(2.7%)	12	なる	14(1.0%)
5	講じる	36(2.6%)	15	開始する	13(1.0%)
6	申し上げる (申しあげる)	34(2.5%)	15	指導する	13(1.0%)
7	実施する	26(1.9%)	15	提出する	13(1.0%)
8	進める	18(1.3%)	18	指示する	12(0.9%)
9	取りまとめる	17(1.2%)	18	示す	12(0.9%)
10	ある	16(1.2%)	18	入る	12(0.9%)

「～たところ」(直後)は「する」「行う」「図る」「講じる」「実施する」「進める」などの行為や活動を表す述語、「申し上げる」「指摘する」などの発話に関する述語と結びつきやすい。また、「図る」「努める」「講じる」「実施する」など、他の分析項目では見られないような述語と結びついていた。さらに、「国会会議録」に多く見られるという特徴もある。

#### 4. 3 「～たところ、」(順接)の調査結果

「～たところ、」「～だところ、」「～たところ、」「～だところ、」を検索した結果、それぞれ1477例、33例、157例、0例であった。そのうち、場所を表す「ところ」、「ていたところ」、「てたところ」は除外し、1562例を収集した。「～たところ、」(順接)が結びつく述語は以下の通りである。

表9 「～たところ、」(順接)が結びつく述語

1	聞く(きく)	86(5.5%)	10	話す	20(1.3%)
2	調べる(しらべる)	75(4.8%)	12	求める	17(1.1%)
3	見る(みる)	69(4.4%)	13	思う	15(1.0%)
4	尋ねる(たずねる)	62(4.0%)	13	送る	15(1.0%)
5	行う(行なう)	49(3.1%)	13	伝える	15(1.0%)
6	質問する	37(2.4%)	16	問い合わせる	14(0.9%)
7	行く(いく)	34(2.2%)	17	一見する	13(0.8%)
8	言う(いう)	26(1.7%)	18	確認する	12(0.8%)
9	相談する	24(1.5%)	19	出す	11(0.7%)
10	調査する	20(1.3%)	20	入れる/頼む	10(0.6%)

「～たところ、」(順接)は「聞く」「尋ねる」「質問する」「言う」「相談する」など、「<人が><人に><物・ことを>Vする」という構造を持つ3項述語が多く見られた。また、

「調べる」「調査する」「行う」といった結果が関係する述語が上位で使用され、「～てみる」(70例:4.5%)や「～ようとする」(40例:2.6%)と結びつきやすいという特徴もある。

#### 4. 4 「～たところが」(逆接)の調査結果

「～たところが」「～だところが」を検索した。全体では420例使用されていたが、その中で90例が「～たところが」(逆接)であった。「～たところが」(逆接)が結びつく述語は以下の通りである。

表10 「～たところが」(逆接)が結びつく述語(2例以上)

1	思う	5	8	おる	2
1	見る	5	8	聞く	2
3	歩く	3	8	照会する	2
3	言う(云う)	3	8	(そう)する	2
3	考える	3	8	訪ねる	2
3	調べる	3	8	尋ねる	2
3	出る	3	8	調査する/始める	2

表11 「～たところが」(逆接)が結びつく述語(1例)

遊ぶ・ある・いい聞かせる・行く・入れる・伺う・写す・訴える・補う・送る・押さえる・納める・かかる・書く・勝つ・鑑定する・食う・(高を)括る・経営する・向上する・懲らしめる・叫ぶ・避ける・したがう・出奔する・準備する・申請する・(看護を)する・(まねを)する・座る・頼む・着陸する・追及する・作る・詰め寄る・取りにやる・(質に)とる・獲る・なる・ねらう・乗りこむ・話す・服用する・見える・結ぶ・もらう・訳す・融通する・読む

「～たところが」(逆接)には特徴的に見られる述語は存在しなかった。「～たところ」(直後)や「～たところ、」(順接)は述語に特徴があったのに対して、「～たところが」(逆接)にはそのような特徴は見られなかった。

#### 4. 5 「～たところで、」(逆接・仮定)の調査結果

「～たところで、」「～だところで、」「～たところで、」「～だところで、」を検索したところ、921例を収集した。そのうち、「～たところで、」(逆接・仮定)として、379例を収集した。「～たところで、」(逆接・仮定)が結びつく述語は以下の通りである。

表12 「～たところで、」(逆接・仮定)が結びつく述語

1	言う(いう)	36(9.5%)	6	やる	5(1.3%)
2	なる	11(2.9%)	6	わかる	5(1.3%)
3	ある	8(2.1%)	10	聞く(訊く)	4(1.1%)
4	(そう)いう	6(1.6%)	10	見る(みる)	4(1.1%)
4	(名詞に)する	6(1.6%)	12	考える	3(0.8%)
6	思う	5(1.3%)	12	設定する	3(0.8%)
6	(そう)する	5(1.3%)	12	説明する	3(0.8%)

述語の種類という点では、「言う」「なる」「ある」の順になったが、形式的には「言う」

の次に多かったのが「～てみる」で、26例使用されていた。これは「～てみる」が持つ「試しにやる」という意味が、「試しにやる」→「しかし、うまくいかない」という流れに反映されるためと考えられる。また、今回は取り上げなかったが、例示を表す「～といったところで」も数多く使用されていた。

## 5. おわりに

本発表では、ある行為が行われた直後という意味を持つ「～たばかりだ」と「～たところだ」の違い、および、両形式の文末用法と接続表現としての用法の違いについて、コーパスを用いた分析を行った。今回は両形式に結びつく述語の種類を中心に見たが、今後は副詞やモダリティ表現といったその他の要素についても見ていく必要がある。また、今回は現代日本語書き言葉均衡コーパスを使用した。今後は書き言葉コーパスだけでなく、話し言葉コーパスを使った分析が必要となることも付け加えておく。

## 参考文献

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘（2001）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク。
- 市川保子（2005）『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク。
- 岡本牧子・沢田幸子・安田乙世（2009）『はじめて日本語を教える人のための なっとく しっとく 初級文型 50』スリーエーネットワーク。
- 川越菜穂子（1995）「トコロダとバカリダ」『日本語類義表現の文法(上)単文編』pp. 204-209, くろしお出版。
- 金水敏・工藤真由美・沼田善子（2000）『時・否定ととりたて』岩波書店。
- グループ・ジャマシイ編（1998）『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版。
- スリーエーネットワーク編（2001）『みんなの日本語初級Ⅱ 教え方の手引き』スリーエーネットワーク。
- 建石始（2011）「非現場指示のア系と結びつく名詞の特徴」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』pp. 189-208, ひつじ書房。
- 中村重穂（1999）「再び、「～たばかり」について一意味論的観点から」『北海道大学留学生センター紀要』第3号, pp. 30-54, 北海道大学。
- 日本語記述文法研究会編（2007）『現代日本語文法3』くろしお出版。
- 日本語記述文法研究会編（2008）『現代日本語文法6』くろしお出版。
- 前田直子（2001）「「～したところだ」と「～したばかりだ」」『東京大学留学生センター紀要』第11号, pp. 29-44, 東京大学。
- 益岡隆志・田窪行則（1992）『基礎日本語文法—改訂版—』くろしお出版。
- 森篤嗣・庵功雄編（2011）『日本語教育文法のための多様なアプローチ』ひつじ書房。
- 森山卓郎（1983）「～ばかりだ／～ところだ」『日本語学』3-10, pp. 13-20, 明治書院
- 吉川武時編（2003）『形式名詞がこれでわかる』ひつじ書房。